

鉄砲祭り

小鹿野町 飯田
八幡神社例大祭
埼玉県指定無形民俗文化財

12月第二日曜日とその前日

まるで戦国絵巻の様な豪壮さ

十二月第二日曜日とその前日、秩父路の祭曆を締めくくるかのように、鉄砲まつりは勇壮に、そして賑やかに催される。古くは秋の収穫を祝う霜月祭り、旧暦の十月十五日に行われていた。

「鉄砲まつり」と呼ばれる所以は江戸時代、火縄銃の頃に遡る。豊猟祈願や猟師の試し撃ちが起りともいわれるが、起源は明らかではない。大名行列は、元文年間(一七四〇頃)当時の上飯田領主・旗本古田大膳が行列を仕立て、参拝したのが起源と伝えられている。

祭り 一日目

午後、祭りは役人の氏子の宮

参り、そして笠鉾屋台の上飯田地区内曳き廻しで始まる。祭りの安全を祈って奉納される三番叟、屋台に芸座花道を組み、上飯田の若衆によって上演される歌舞伎など、様々な伝統色で彩られる。

祭り 二日目

午前から祭典が行われ、境内の神楽殿では終日、神楽が奉納される。正午過ぎ、神社石段下に曳き付けられた屋台上で三番叟・歌舞伎が奉納される。この頃になると神社周辺は大勢の参拝客でふくれあがる。

夕刻、十萬石の格式と二百七十余年の歴史を誇る大名行列が独特の所作で参道を進み、祭



りの興奮は徐々に高まっていく。参道の両側には、猟銃を携えたハンターや火縄銃保存会の人達。
——異様な静寂を突き破り、空に向けて一斉に放たれる銃火の中を、二頭の神馬がそれぞれ参道から社殿までの急な石段を一気に駆け登る——。
轟音と硝煙に包まれて「お立ち」の神事は秩父路の祭りのフィナーレを飾る。
お立ちの余韻の中、神輿渡御・川瀬神事が厳粛に執り行われる。夜になると再び歌舞伎が奉納され、拍手喝采の終演とともに冬の夜空に打ち上げ花火が華やかな彩りを添え、祭りが締めくくられる。

鉄砲祭り

祭り案内図



花と歌舞伎と名水のまち・おがの



- 一日目**
- 14:00 若衆宮参り
 - 笠鉦・屋台曳き廻し
 - 三番叟上演
 - 歌舞伎上演
- 二日目**
- 10:00 祭典、神楽上演(終日)
 - 三番叟上演
 - 歌舞伎上演
 - 火縄銃演舞
 - 大名行列
 - 16:00 お立ち(銃火奉納)神事
 - 神輿渡御、笠鉦・屋台曳き廻し
 - 川瀬神社
 - 歌舞伎上演
 - 21:00 煙火奉納
- (行事の時間・内容等はお問合わせください)

路線バスをご利用の方

- 西武秩父駅→(西武観光バス「栗尾行き」)
- 一栗尾下車・徒歩約10分
- 西武秩父駅→(西武観光バス「栗尾行き」)
- 一小鹿野町役場下車→(西武観光バス「坂本行き」)
- 一飯田八幡下車

※坂本行きは便数が少ないのをご注意ください
※ダイヤはお問合わせください
西武観光バス ☎0494-22-1635

